

定時総会を開催しました

役員紹介

会長 廣瀬健吾	活動推進員 久下秀和
副会長 荒木長司	監事 宮崎実康
大西 誠	浅場泰則
清水公宏 (まちづくり部部長兼務)	

(部長)

(副部長)

[健康体育部] 柳瀬 太	柳本朋久、山内成之
[教育人権部] 足立繁信	藤本 満、浅葉法子
[環境福祉部] 下中克憲	中村正幸、澤野礼子
[広報部] 寺村敬志	村岡一秀、杉浦淳子
[まちづくり部] 清水公宏	田村一男、浅葉 学

◆ 久下地区まちづくりの目標

- 生活環境を守り、命を以ての里 ~安全安心な地域づくり
- 住民が一体となった久下の里 ~住民参加型社会の構築
- 久下の資源を活かした里づくり ~地域の賑わい

「最近自治会に入らない人が増加している、いろんな組織の役員のなりてがなく、長年活動してきた組織が解散してきている」。高齢化が進むことと比例するように、二世帯、三世帯との同居も少なくなり、やがて限界集落に陥ってしまうことが全国的に問題視されています。これはわが久下地区も例外ではありません



が、せめて今私たちにでき

久下自治振興会

第25号

2014年7月

る活動を継続することで活力ある地域づくりを進めていきます。本年度も各部の活動を中心に、地域の人たちの参加を得て、その成果を具体化していきたいと思えます。あわせて自治振興会の各構成団体をはじめ久下地区の活性化について提言をいただいている神戸親和女子大学、丹波市まちづくり部等との連携を図り、まちづくりの目標の達成に向けて取り組んでいくこととします。



広報部は6月6日(金)の午後7時30分から自治会館で丹波新聞社の芦田安生記者を講師に招き、広報誌を発行する手順に関する研修会を開催した。寺村広報部長は「広報誌を作るにはまずメンバーの大半が持つ苦手

「広報誌」発行手順を 地元新聞記者から学ぼう!



意識の克服など精神的な負担を軽減することが不可欠。発行手順を学ぶことでイメージが深まり企画も広がり紙面が充実する。メンバーの一体感で住民の皆さんが読みやすい、親しみやすい広報誌制作を目指したい」と話す。芦田記者はインタビュー、執筆や写真の構図の内容をマル秘テクニクや取材のエピソードを混じえながら具体的にわかりやすく巧妙に説明。16名の参加者はペンを取りながら熱心に聞き入っていた。この研修会を企画した村岡副部長は「特に写真の構図が参考になった。早速記事を書いてみたくなった。今回のセミナーは大成功。今後もこの企画を続けていきたい」と満足げに声を弾ませていた。

6月8日(日)午前9時、環境福祉部(下中克憲部長)の8名は谷川1区公民館に集まり、花いっぱい運動をスタートした。



この日メンバーは、計画した谷川地域内10個所に色とりどりの花が植えられたプランターを設置し、地域住民に管理をお願いした。プランターの設置場所は今後、定期的に増やしていく予定。下中部長は「この活動が【久下のまち】が明るく、美しく輝き、将来地域の皆さんが主体となる取り組みにつながれば嬉しい。」と熱く語る。



「花いっぱい運動」展開中 (一) v

久下地区 グラウンドゴルフ 大会

競技開始



5月16日（金）中央グラウンドで久下自治振興会は久下地区老人クラブ連合会と合同でグラウンドゴルフ大会を開催しました。141名が参加され、みなさん、絶好の五月晴れのゴルフ日和の中、気持ちの良い汗をかきました。

ナイスショット!!



【玉巻城跡】を現地調査

久下自治振興会の観光資源活用委員会メンバー(垣内宏之委員長)は6月25日玉巻地区の長慶院を訪れ、久下一族墓石と玉巻城跡の現地調査を行った。一行は村上完二さん、村上孝男さんの「玉巻城略図(「山南町文化財の姿」)を参考に東曲輪・堀切・本丸・西曲輪跡などの場所の確認などを行った。委員会では今後、地域内の観光マップやガイドマップに活用できるように調査を進めている。

久下自治振興会の観光資源活用委員会



コミュニティ喫茶 「おくどさん」

地域の人が久下自治会館に集まって楽しいおしゃべりができたら「地域の賑わい、元気」に一役です。ちょっと年配で元気いっぱいウエイテス達がお待ちしています。

開店日
毎月第1,2,3週の月曜日
午前9:00から午後3時まで



- 5月23日（金）、6月26日（木）久下小学校の3～6年生を対象に自転車点検を実施
- 6月2日（月）久下地区老人クラブ連合会は久下自治会館内グラウンドの清掃作業を奉仕
- 6月8日（日）久下地区ソフトボール・バレーボールまつりを開催
- 6月26日（木）生き方を育む学習事業「春風学級」がスタート（全17回実施予定）

その他の事業
(4～6月)

ウォークフェスタ2014 開催



3月16日（日）恒例行事のウォークフェスタ2014が開かれ、春のどかな日和の中、150名は久下自治会館から首切り地蔵尊までの約4.5キロのコースをスタンプラリーを楽しみながら歩きました。一方会場では正午前からおにぎり、豚汁、フリーマーケットなどが出店。たこ焼きの前には行列ができるなどの大盛況。特に食事の後のお楽しみ抽選会では約200名が集まり、「ちーたん商品券」があたる番号が発表されるたびに事前配布された参加券の番号を見ながら大きな歓声が上がっていました。この日、自治振興会が都市との交流事業で招待した尼崎の自治協議会はバス1台を貸しきり43名が来丹。首切り地蔵尊の参拝、餅まき、マーケットで採りたての地元野菜を買い求めるなど丹波の春を満喫されました。

